

本校の『ものづくり教育』

令和6年度も本校では「ものづくり」にかかわるさまざまな活躍が見られた。メカトロ部は、秋田県高校生ロボット競技大会で優勝し、今年度も全国大会に出場を果たした。無線部も秋田県高校生 ARDF 競技大会を勝ち抜き、全国大会に出場を果たした。秋田県高校生ものづくりコンテストでは、旋盤作業部門において高い精度の部品を製作し、第2位に入賞した。電子回路部門でも第3位入賞を果たしている。秋田県立大学主催の「高校生3Dデザイン & 3Dプリントコンテスト」ではベストデザイン賞や役員賞を受賞、秋田県工業系高校生徒による建築設計作品コンクールでは奨励賞に輝いている。

地域との連携に係わる取り組みで特筆すべきは、地域特産である「山内どぶろく」の生産における課題を本校生徒が取材し、山内杜氏と連携しながら「ものづくり」によってその課題解決を図ったことである。この活動内容は「秋田県工業系生徒による課題研究発表会」でも高く評価され、見事、最優秀賞に輝くことができた。普段の学習の成果を地域に還元できた取り組みとなった。さらには、地元企業の(株)森井製作所と連携した「全日本製造業コマ大戦秋田場所」への出場も大きな出来事である。本校が製作したコマは、決勝進出を果たす快挙となった。今後に向けて大きな収穫を得る大会となった。



その他の地域連携としては、地元小学校を本校職員や生徒が訪問してのプログラム学習の実施や、創立20周年記念事業として開催した地元小学校を招いてのロボット競技大会などがある。

令和6年度も多くの取り組みを実施し、多くの成果を挙げる事ができた。令和7年度も本校の特色を生かし、地域と連携しながら充実したものづくり教育を進めていきたい。